

第6回委員会の審議結果

第6回利賀ダム建設事業監理委員会【審議結果】

1. 日 時：令和元年8月6日(火) 14:00～15:45

2. 場 所：利賀ダム工事事務所 会議室

3. 審議結果：

○利賀ダム建設事業の概要について

- ・利賀ダム建設事業の概要、これまでの事業の進捗状況を報告。
- ・関連市町村人口の推移等を説明し、事業を巡る社会情勢に大きな変化が無いことを説明し、確認して頂いた。

○第5回委員会の審議結果について

- ・第5回委員会の審議結果及び第5回委員会以降の工事現場の安全管理の取り組みを説明し、確認して頂いた。
- ・工事現場の安全管理では、急峻な地形条件であることを踏まえ、監視カメラや目視により現場周辺斜面の安全を十分に確認することが重要との意見を頂いた。(①)

○事業の実施状況等に関する事項について

- ・利賀ダム事業の全体工程により、河床進入路及び利賀トンネル（河床進入）を含む転流工進入路関連工事に今年度から本格着手することを説明。
- ・今後の事業進捗の見通しを説明し、留意事項としてクリティカル工程における複数の施工手順や不測の事態への対処方法を予め検討しておく必要性を説明。
- ・転流工進入路は、利賀ダムの事業全体工程からみてもクリティカル工程となる重要な工事であり、着実に進めるための安全対策や予算の確保が必要である。(②)また、地すべり対策についても、必要なことをしっかり実施することが重要との意見を頂いた。(③)
- ・令和4年度までとなっている利賀ダムの事業工期については、今後の事業工程を確実にしていくために関係者の意見を聞きながら、必要な見直しを行う時期にきていると考えられるとの意見を頂いた。(③)

○コスト縮減に関する事項について

- ・今年度着手工事である利賀トンネル(河床進入)、転流工パイロット道路の設計段階におけるコスト縮減の取り組みとして下記事項を説明
 - 1) トンネル断面形状の工夫による施工機械省略によるコスト縮減
 - 2) 擁壁構造物への新技術採用によるコスト縮減
- ・当面のコスト縮減の取組として厳しい現場条件である河床進入路の早期結合など事業全体の適切なマネジメント及びトンネル掘削ズリのダム本体骨材への効率的転用に努めることを説明。
- ・コスト縮減に関する事項について、以下について意見を頂いた。
 - 1) 引き続き、新技術の活用などにより安全管理とコスト縮減の両立に努めて頂きたい。
 - 2) 施工する構造物の工法選定にあたっては、施工を含む現場条件等を総合的に検討した上で選定することは重要である。

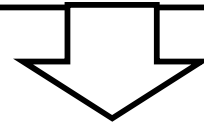
令和2年度の委員会

(①)監視カメラ等による工事現場の安全管理について

- ・河床進入トンネル工事の坑口部は急峻な地形であり上部からの落石等に対する安全管理として、坑口部の周辺状況をいつでもどこからでも確認できるようにWebカメラを設置。

(②)転流工進入路の施工手順について

- ・転流工進入路である河床進入トンネルについて、令和元年度にトンネル掘削に着手。
- ・転流工パイロット道路工事について、令和元年に着手。



河床進入トンネル及び利賀トンネル(河床進入)工事の施工状況と合わせて
令和2年秋頃に現地説明を実施(第8回委員会)

(③)利賀ダム事業工期等について

○事業工期について

令和元年度に転流工進入路である河床進入トンネルに現地着手したことで、事業工期を確定することが出来たため、工期の見直しを行う。

○総事業費について

ダム本体座取り確定、地質情報の充実の反映等により事業費の見直しを行う。

審議結果の公開

利賀ダム建設事業監理委員会

1. 委員会の目的

利賀ダムは、富山県 南砺市に位置し、庄川の右支川である利賀川に平成5年度より建設を進めている多目的ダムであり、「洪水の防御」「既得用水の安定化と河川環境の保全」「工業用水の確保」を目的としています。

ダム建設事業は、調査計画段階から用地補償、生活再建、ダム本体施工を経て管理に至るまで、長い期間と多額の事業費を必要とするプロジェクトであり、全国的に、水需要の伸びの鈍化や国民の環境意識やコスト意識の高まり等の「社会情勢の変化」により、ダム事業に対して厳しい目が向けられています。

特に、事業費について、いわゆる物価増以上に大幅に増加する事業があること、国と地方の財政が厳しくなっていること等により、関係者等の関心が高まっています。一方、公共事業投資について引き続き厳しい状況が予想される中、事業者としてこれまでも増して一層のコスト縮減、工期短縮に取り組んで行くことが求められています。

このような状況の中、利賀ダム建設事業全般にわたり事業費・工程等の管理をより充実して行うため、毎年、事業の進捗状況、コスト縮減策やその実施状況、工事工程の進捗状況等について、第三者の意見を求める機関として「利賀ダム建設事業監理委員会」を設置し、事業費・工程管理の一層の充実を図ることを目的としています。

2. 委員会の経緯

	開催日	内容	審議概要
第1回	平成20年7月18日(金)	(1) 利賀ダム建設事業の概要 (2) 利賀ダム建設事業の進捗状況 (3) コスト縮減策について	審議結果
第2回	平成21年4月14日(火)	(1) 第1回委員会の結果概要 (2) 事業の実施状況等に関する事項 (3) コスト縮減に関する事項	審議結果
第3回	平成22年7月6日(火)	(1) 第2回委員会の結果概要 (2) 事業の実施状況等に関する事項 (3) コスト縮減に関する事項	審議結果
第4回	平成29年7月18日(火)	(1) 第3回委員会の結果概要 (2) 事業の実施状況等に関する事項 (3) コスト縮減に関する事項	審議結果
第5回	平成30年8月9日(木)	(1) 第4回委員会の結果概要 (2) 事業の実施状況等に関する事項 (3) コスト縮減に関する事項	審議結果 事業進捗の報告概要
第6回	令和元年8月6日(火)	(1) 利賀ダム建設事業の概要 (2) 第5回委員会の結果概要 (3) 事業の実施状況等に関する事項 (4) コスト縮減に関する事項	審議結果

これまでの審議結果を
事務所HPで公開
しています。